

# 東芝換気扇取付説明書（ダクト用）

優良住宅部品「BL」認定

形名

販売店・工事店さま用



日本国内専用品  
Use only in Japan

DVF-20MQB, DVF-20MQHB  
DVF-23MB, DVF-23MHB  
DVF-23MQB<sub>1</sub>, DVF-23MQHB<sub>1</sub>

- この換気扇の注意事項をよく知っていただき、正しく取り付けていただくためにこの取付説明書をよくお読みください。
- この取付説明書は工事完了後、お客様にお渡しください。



## 安全上のご注意

- 取付の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく取り付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

表 示	表示の意味
 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると人が傷害を負ったり、* 物的損害の発生が想定される内容を示します。







\* 物的損害とは、家屋・家財およびペットにかかわる拡大損害を示します。

### 図記号の意味

表示	図記号の意味
 改造禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに文章や絵で示します。左図の場合は「改造禁止」を示します。
 アースを接続する	●は、強制（必ずすること）を示します。具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。左図の場合は「アースを接続する」を示します。

取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、この取付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。

 <b>警告</b>	
 改造禁止	<b>改造はしない</b> 火災・感電・けがの恐れがあります。
 分解・修理禁止	<b>修理技術者以外の人は分解、修理（※）をしない</b> 火災・感電・けがの恐れがあります。 ※修理はお買上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。
 アースを接続する	<b>アースは確実に取りつける</b> 故障や漏電したとき、火災・感電の恐れがあります。 アースの取付は販売店や電気工事店を通じ、電気工事士へ依頼してください。
 接触禁止	<b>金属製ダクトが、メタルラス張りなどの金属造営材を貫通するときは、金属造営材に接触させない</b> 漏電したとき、火災・感電の恐れがあります。
 取付禁止	<b>内釜式風呂を設置した住宅には取りつけない</b> 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす恐れがあります。
 吸気を確実に	<b>自然排気型ストーブがある部屋に据えつけるときは、ドアなどに空気取り入れ口をつける</b> 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす恐れがあります。
 交流 100V 使用	<b>電源は交流 100V を使う</b> 交流 100V 以外の電源を使うと、火災・感電の恐れがあります。

 <b>注意</b>	
 取付禁止	<b>浴室内には壁スイッチを取りつけない</b> 火災・感電の恐れがあります。
 炎禁止	<b>炎が接近したり、あたる恐れのある場所には取りつけない</b> 火災の恐れがあります。
 確実に取り付ける	<b>強度のある場所に確実に取りつける</b> 落下により、けがをする恐れがあります。
 確実に取り付ける	<b>本体カバーや部品は確実に取りつける</b> 落下により、けがをする恐れがあります。
 電気工事士が実施	<b>電気工事・アース工事は電気工事士（※）が行う</b> 電気工事士以外の方が工事をする、火災・感電・けがの恐れがあります。 ※電気工事士への依頼はお買上げの販売店または電気工事店にご相談ください。

## 取付上のお願い

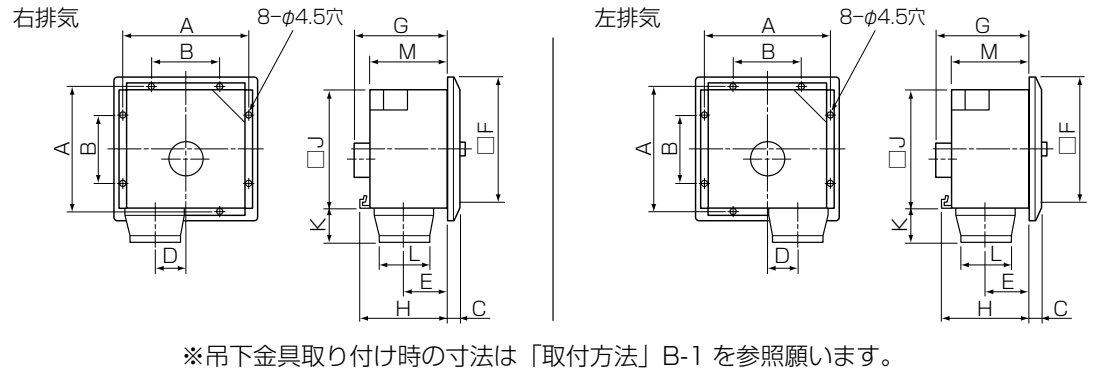
- 換気扇付近の温度が40℃以上になる所には取り付けないでください。プラスチック部品が変形したりモータの寿命が短くなります。
- ガス湯沸器の真上は高温となりますので絶対に取り付けしないでください。(図1) 横方向へ50cm以上離れた位置に取り付けてください。(図2)
- 自然排気型ストーブをご使用のときは空気がストーブ排気口より逆流し、危険な燃焼状態になる恐れがありますので、フード付ガラリ(空気の取入口)などにより十分吸気できるように配慮をしてください。
- 安全のため必ずアースを取り付けてください。
- 浴室など湿気の高い場所へは取り付けしないでください。絶縁が悪くなり感電する恐れがあります。
- 換気扇の取付部の強度を確かめてください。取付部が弱いと落下したり、振動や騒音の原因となります。
- 換気扇の上面を断熱材などで被わないでください。(図3) モーターの放熱が悪くなり、寿命が短くなります。
- 効率よく排気させるため、排気ダクトと同じ大きさの空気の取入口を部屋の反対位置に設けてください。
- 金属製のダクトを使用して木造の壁を貫通する場合には、ダクトと壁とは電氣的に絶縁してください。
- 地域によってはジャバラを使用できない場合がありますので十分ご注意ください。(詳細は行政官庁または消防署にお問い合わせください)
- ダクトと排気口をテクスねじなどで止めないでください。シャッターが開かなくなります。
- 次のようなダクト工事はしないでください。



### ■この換気扇をレンジ用として使用する場合



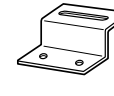


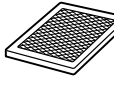
- (1) 換気扇の周囲をガスレンジと同寸、またはそれ以上の幅のフードを取り付けてご使用ください。(図4)
- (2) 取り付け高さはガスレンジの真上80cm以上にしてください。高すぎると、煙その他の捕集効果が低下します。また、低すぎると台所仕事のさまたげになったり、高熱による故障の原因にもなります。(図5)
- (3) 料理の種類によっては極端に多くの煙が発生し捕集しきれないことがあります。お台所は全体換気のために他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。

## 製品寸法



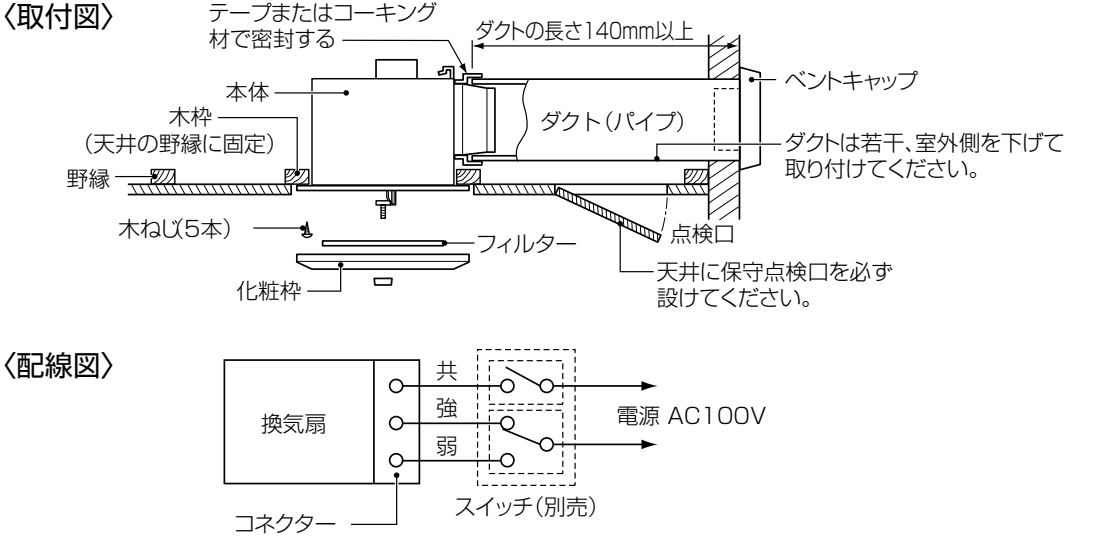
(単位:mm)														
形 名	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	木枠内寸	ダクト呼び径
DVF-20タイプ	335	221	14	77.5	128.5	359	270.5	221	309	101	φ143	213.5	□316	φ150
DVF-23タイプ	383	220	18	93	129	410	289	222.5	357.5	101	φ143	213.5	□363	φ150

### 付属品の確認をしてください

付 属 品	木ねじ5本 本体固定用 排気口固定用	ねじ4本 (吊下金具固定用)	吊下金具2個	平座金4個 (吊下金具用)	ゴムクッション4個 (吊下金具用)	フィルター1個
	 φ4.1×25 <i>l</i>	 φ4×12 <i>l</i>		 φ26 φ12.5	 φ26 φ12.5	

## 取付方法

- 取付工事前に本体に異常音、変形などの異常がないか確認してください。
- 取り付け時、板金部品の端面で手を滑らせると手が切れる場合がありますので、手袋の着用をおすすめします。



天井板を貼る前のとき

木枠に取り付けるとき

A-1 木枠内寸法に合わせて木枠を作り、野縁に固定します。

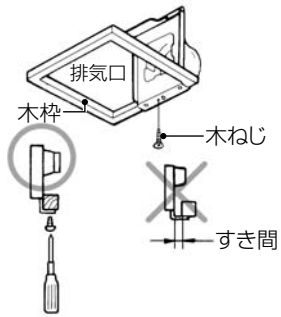
お願い  
製品の質量に十分耐えるよう木枠を補強材等で野縁に固定してください。

野縁	木枠	補強材
形名	木枠内寸	木枠内寸
DVF-20タイプ	□ 316	6.1kg
DVF-23タイプ	□ 363	6.4kg

A-2 排気口を固定します。

排気口を木枠のかどに、すき間がないように付属の木ねじ（1本）で固定します。

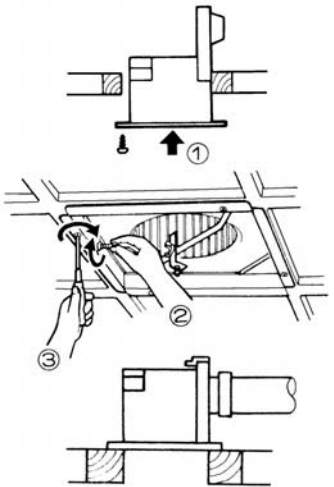
お願い  
工事をするときシャッターを変形させないでください。



A-3 本体を木枠に固定します。

- ①本体を木枠にはめ込みます。
- ②取付ボルトで仮固定します。  
（安全のためそのままにしておいてください）
- ③木ねじ（4本）で本体を木枠に固定します。

お願い  
●本体の固定は排気口に密着させてください。  
風漏れの原因になります。  
●本体を木枠の上に固定しないでください。



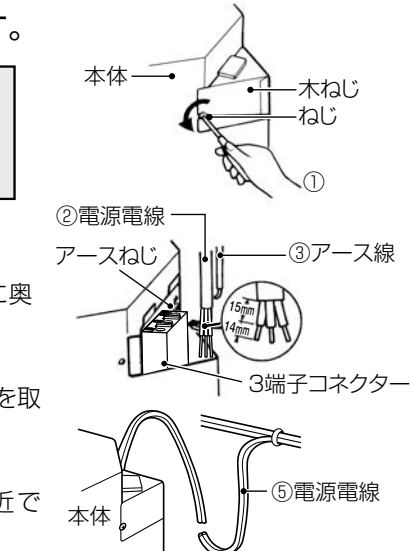
A-4 電源電線とアース線を接続します。

お願い  
配線工事やスイッチの取り付けは必ず電気工事店に依頼してください。

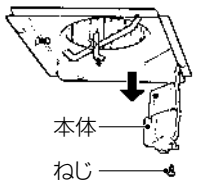
- ①カバーのねじをゆるめ、カバーを開けます。
- ②コネクタに電源電線（VVFケーブル φ1.6, φ2）の芯線が止まるまで、確実に奥まで強く差し込んでください。  
●電源電線の被ふくは10mmむきます。
- ③アースねじに1.25mm<sup>2</sup>以上のアース線を取り付けます。
- ④カバーを閉じてねじを締め付けます。
- ⑤電源電線およびアース線は本体部付近で70cm以上たるませてください。

お願い  
スイッチは必ず活線側に取り付けてください。

お願い  
電源電線は、点検が行えるように70cm以上余裕を持たせて配線し、SL端子の接続部に張力が加わらないように固定してください。

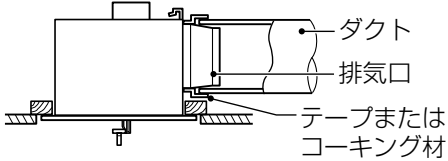


（参考）  
接続の確認やメンテナンスのときに、電装台は本体内部より取りはずすことができます。  
●電装台のねじ（1本）ははずし、本体から電装台ははずします。



A-5 排気口にダクトをはめ込みテープまたはコーキング材で密封します。

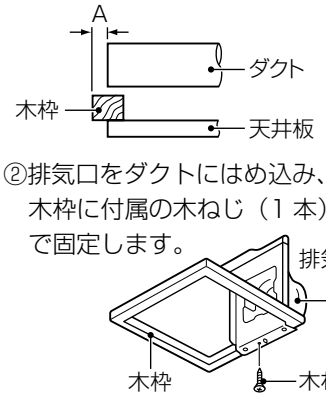
お願い  
ダクトは若干室外側を下げて取り付けてください。



天井板を貼った後のとき

C-1 排気口を固定します。

- ①ダクトの先端は右表のA寸法に合わせてください。



A寸法	(単位:mm)			
形名	ダクト(パイプ)			
	呼び径	VU	VP	スパイラル
DVF-20タイプ	φ150	55	75	60
DVF-23タイプ	φ150	55	75	60

お願い  
排気口が傾いていますと本体が取り付けられません。

C-2 排気口とダクトの接続部分にテープを巻き密封します。

詳しくはA-5を参照してください。

C-3 電源電線とアース線を接続します。

詳しくはA-4を参照してください。

C-4 本体を木枠に固定します。

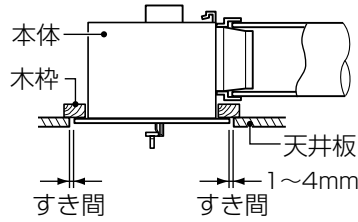
詳しくはA-3を参照してください。

C-5 化粧枠を取り付けます。

詳しくはA-7を参照してください。

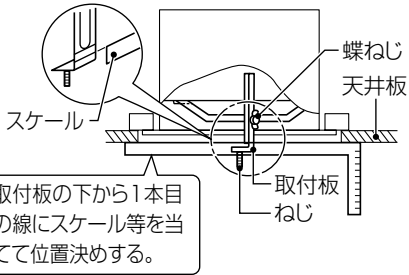
A-6 天井板を貼り付けます。

お願い  
本製品は本体を天井よりはずせる構造としてありますので、天井板と本体のフランジとのすき間が1~4mmになるようにしてください。

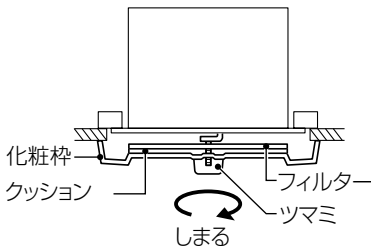


A-7 化粧枠とフィルターを取り付けます。

- ①取付板の蝶ねじをゆるめ、取付板下面が天井面より約2mm出る位置に調節し、蝶ねじをしっかりと締め付けてください。
- ②化粧枠とフィルターをツマミで取り付けます。



お願い  
フィルターのクッション側が化粧枠の内側に当たるように取り付けてください。（DVF-23タイプは除く）



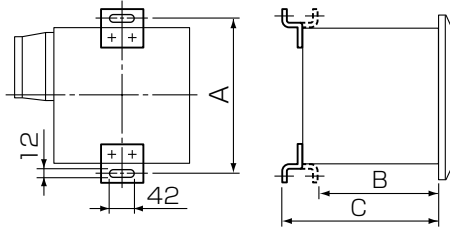
以上で取り付け完了です

つぎの点検を行い異常がないか確認してください。

- 製品の取付強度が十分なこと。
- 運転したとき異常音、異常振動がないこと。
- 本体カバーが確実に取り付けられていること。

吊下金具を使用するとき

B-1 天吊金具の位置に合わせてアンカーボルトを埋込みます。

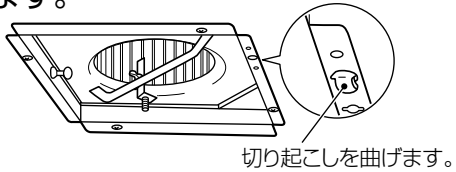


	(単位:mm)		
形名	A	B	C
DVF-20タイプ	356	185.5	243
DVF-23タイプ	403	185.5	243

●吊下金具は破線のような取り付けも可能です。

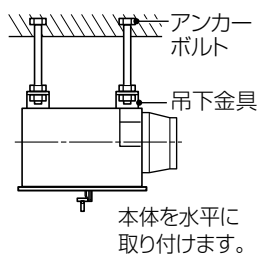
B-2 排気口を本体に固定します。

排気口の切り起こしを本体の穴に通してペンチ等で曲げます。



B-3 本体をアンカーボルトに取り付けます。

お願い  
本体が水平になるように取り付けてください。



B-4 木枠を取り付けます。

B-5 以後の取り付けはA-4・5・6・7を参照してください。

- 当社の定める施工要領を逸脱しない据付工事に瑕疵が生じ、施工者が無償修理や損害賠償を行った場合、BLマークの証紙の貼付（または刻印等）がされている部品については、一般財団法人ベターリビングのBL保険制度により、保険金が支給されます。
- 一般財団法人ベターリビングが認定したBLマークの付いた優良住宅部品については、万一当社または設置工事施工者が倒産等している場合、当社等による瑕疵保証責任等に代わる措置が同財団から受けられます。
- BL保険制度や当住宅部品の施工要領の詳細については、一般財団法人ベターリビングのホームページ (<http://www.cbl.or.jp/>) や当社のホームページをご覧ください。